

到達目標については、学習成果における①保育者観、②知能・技能、③実践力と実務能力、④人間性と協働性が該当する。特に①②③を重視する。

幼児教育科のディプロマ・ポリシー「4. 幼児教育の知識・理解に基づいた幼児教育の方法や技術を修得している。」「5. 音楽・図画工作・体育の技術と表現を身につけ、乳幼児に指導できる。」を達成するための科目である。

授業計画表

表現（指導法）

回	時限	担当教員	項目	内容	予習	復習
第1回	1時限	石坂小百合	第1回：オリエンテーション（授業の流れ）	<ul style="list-style-type: none"> 領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児の表現する姿を関連づけることを通して理解する。 手遊び エプロンシアター紹介 名札の作り方の説明（作りたいものをイメージしてまとめる） 	<ul style="list-style-type: none"> シラバスを事前確認 名札作りに向けて、デザインを考えておく 	<ul style="list-style-type: none"> 名札作り
第2回	1時限	石坂小百合	第2回：・五感を使った表現活動 ・名札作り	<ul style="list-style-type: none"> 五感を使った総合的な表現活動を実施し、活動の特徴や面白さ、留意点などを考える。（音を聴いて、匂いを嗅いで、色や形、身体で表現するなど） 名札作り（大きさを考慮しながら作る） 持ち物：・名札作りの材料・公園へ行くため歩きやすい靴・スマホ・教科書（P.167）・ビニール袋（葉を入れる）・ティッシュペーパー・新聞紙	<ul style="list-style-type: none"> 名札作りに向けて、作り方を考えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 名札作り
第3回	1時限	石坂小百合	第3回：・表現における情報機器の活用法を学ぶ（1回目） ・名札作り	<ul style="list-style-type: none"> 表現における情報機器の活用法について事例を通して学び、実際に体験することを通して、保育構想に活用できるアイデアを考える。（1回目） 名札作り（基本の縫い方を身に付ける） 持ち物：・スマホ・五感のプリント・名札作り	<ul style="list-style-type: none"> 五感の発表をまとめておく。 名札作り 	<ul style="list-style-type: none"> 名札作り
第4回	1時限	石坂小百合	第4回：・情報機器の活用法（2回目） ・自然や自然物を用いた総合的な表現活動 ・名札提出	<ul style="list-style-type: none"> 表現における情報機器の活用法について事例を通して学び、実際に体験することを通して、保育構想に活用できるアイデアを考える（2回目） 自然（風・光・影など）や自然物（葉・木の実など）を用いた総合的な表現活動を実践し、活動の特徴や面白さ、留意点などを考える。 名札提出 持ち物：・名札提出・スマホ・五感のプリント・教科書（P.167）・押し葉っぱ・ボンド・クレヨンまたは色鉛筆	<ul style="list-style-type: none"> 教科書（P.167） 名札作り 	<ul style="list-style-type: none"> 自然物を用いた表現活動の特徴や留意点をまとめておく。（提出はしません。）
第5回	1時限	石坂小百合	第5回：・DVDを見て表現の指導方法を考える ・手遊び練習 ・エプロンシアターの「定義」「技法」「教育的意義」について	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の表現あるいは表出について具体的な場面を挙げ、その表現の背景や要因を考察し、更に幼児の表現が広がる指導方法を考える。 手遊び練習 エプロンシアターの定義・技法・教育的意義について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 手遊び練習 	<ul style="list-style-type: none"> 手遊び復習

第6回	1時間 石坂小百合	第6回：・手遊び実技発表・バルーンアート（膨らまし方・結び方）	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び実技発表では一人一人前に出て手遊びを行う。 ・バルーンアート「ハート」（膨らまし方・結び方） 	・手遊び練習	
第7回	1時間 石坂小百合	第7回：・表現活動の実践例から学ぶ・インクルーシブ保育について・エプロンシアター製作	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の保育研究の論文やインターネットで発信されている表現活動の実践例から動向や課題を知り、自らの保育構想の向上に取り組む。 ・インクルーシブ保育における表現活動や遊びの可能性について理解し、保育構想への活用を考える。 ・エプロンシアター製作（完成までの計画を立てて製作する） <p>持ち物：エプロンシアター材料</p>	・エプロンシアター製作方法を考える	・エプロンシアター製作
第8回	1時間 石坂小百合	第8回：年齢の違いによる表現活動について・エプロンシアター製作	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢による発達や環境等の様々な要因を考え、表現活動や遊びを広げるための言葉掛けや教材の提示方法、環境を踏まえた教材研究について考える。（教科書P.82～101） ・エプロンシアター製作(大きさを考慮して製作) <p>持ち物：エプロンシアター材料・教科書(P.82～101)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P82～101 ・エプロンシアター製作 	・エプロンシアター製作
第9回	1時間 石坂小百合	第9回：・幼児の表現活動と小学校の教科と学びの関連性について・バルーン製作・エプロンシアター製作	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の表現活動と、小学校の体育・生活・音楽や図画工作その他様々な教科と学びの関連性について具体的な実践例から考える。（教科書P.103～111） ・バルーン製作「剣」（ひねり方を覚える） ・エプロンシアター製作（演じ方の注意点を学ぶ） <p>持ち物：・教科書（P103～111.）・エプロンシアター材料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（P.103～111） ・エプロンシアター製作 	・エプロンシアター製作
第10回	1時間 石坂小百合	第10回：・手足・身体を用いた表現活動（エプロンシアター・オペレッタ）・指導案の作成方法について・エプロンシアター製作	<ul style="list-style-type: none"> ・手足・身体を用いた総合的な表現活動を実践し、活動の特徴や面白さ、留意点などを考える。（エプロンシアター・オペレッタ） ・これまでの学びを踏まえ総合的な表現活動を実践するため指導案を作成するにあたり、構造を理解する。 ・エプロンシアター製作（実践することをイメージして製作する） <p>持ち物：・エプロンシアター材料</p>	・エプロンシアター製作	・エプロンシアター製作
第11回	1時間 石坂小百合	第11回：・指導案の作成・エプロンシアター製作（台本を覚える）	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な表現活動を実践するために、指導案を作成し教材研究を深める。（製作中のエプロンシアターを保育で行うことを想定し指導案を作成） ・エプロンシアター製作（台本を覚える） <p>持ち物：・指導案プリント・エプロンシアター材料</p>	・エプロンシアター製作と練習	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作成 ・エプロンシアター製作と練習

第12回	1時間	石坂小百合	第12回：・指導案提出・身近な素材(バルーン)を用いた制作「おさんぽバルーン」・エプロンシアター製作と練習	・指導案を提出(授業開始時) ・身近な素材(バルーン)を用いた総合的な表現活動を実践し、活動の特徴や面白さ、留意点などを考える。 ・エプロンシアター製作(発表できるように練習) 持ち物：・指導案提出・はさみ・色鉛筆・両面テープ・持ち帰り用ごみ袋・エプロンシアター材料	・エプロンシアター製作と練習	・エプロンシアター製作と練習
第13回	1時間	石坂小百合	第13回：・エプロンシアター実技実践(グループ内での発表をして練習)・バルーン制作	・エプロンシアター実技実践(グループ内での発表をして練習)子どもをイメージした言葉かけ・表情の気づきをアドバイスし合う。 ・バルーン制作「ジャンプねずみ」(作る過程を楽しむ) 持ち物：エプロンシアター材料	・エプロンシアター製作と練習	・エプロンシアター製作と練習
第14回	1時間	石坂小百合	第14回：エプロンシアター実技発表(期末試験 前半)	・エプロンシアター実技発表(期末試験 前半) 総合的な表現活動を指導案に沿って実践し、その振り返りを通して改善を試みる。 持ち物：エプロンシアター(14・15回両日持参)	・エプロンシアター練習	・エプロンシアター練習
第15回	1時間	石坂小百合	第15回：エプロンシアター実技発表(期末試験 後半)	第15回：エプロンシアター実技発表(期末試験 後半) これまでに学んだ総合的な表現活動を実践を通して、保育の場における表現活動について考える。 持ち物：・エプロンシアター(14・15回両日持参)	・エプロンシアター練習	・エプロンシアター練習

授業時間外の学修

- ・実演(手遊び・エプロンシアター)を行うので、恥ずかしがらずに表現するための心構えをして授業に臨む事。(予習課題10分かかると予想される。)
- ・名札作り・エプロンシアターの制作(各自好きなものを制作)では、手縫いをするので針と糸を用意し、使い方を確認しておくこと。(予習課題10分かかると予想される。)
- ・名札を制作するので、作りたいものをイメージしておくこと。(予習課題10分かかると予想される。)
- ・次の授業までに配布した資料を見直し復習を済ませておくこと。(15分かかると予想される。)

実務経験の有無

実務経験のある教員が担当する 例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等

ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
◎	◎	◎	○

ルーブリック

--	--	--	--

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を越えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解して、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
表現力	自発的に準備・練習に取り組み、発表する事柄がしっかり身につく臨機応変な対応ができ、表現力がより豊かに身につけている	自発的に準備・練習に取り組み、発表する事柄がしっかり身につけている	自発的に準備・練習に取り組んだが、発表する事柄が身につけていない	教員の指導があっても準備・練習ができず、発表する事柄が身につけていない
レポート力 (復習も含む)	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない

成績評価法 (表形式)

	評価基準	備考
定期試験		
小テスト等		
成果発表	50%	名札作り・手遊び発表・エプロンシアター発表で表現する力を評価する
授業への貢献度	20%	準備学習 (予習・復習) の実施状況の評価する
レポート	30%	授業内容に関するレポート・指導案作成について授業内容と絡めて考察できているかを評価する
その他		

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題 (レポート等) について	模擬授業、プレゼン、発言等について
その都度解説、講評する	その都度解説、講評する	授業の中で解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

等	クリッカー、アンケート、小テスト
ム	ビデオ会議システム
	チャット

アクティブラーニングの割合

る	総授業時間数の30%程度のアクティブラーニングである
---	----------------------------

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
----------------------	--------------------	-------------

グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） 小テストや授業内レポートの活用	実験観察・実習	授業後レポート
教科書		
『保育内容 表現[第2版]（新時代の保育双書）』中川香子・清原知二 みらい		
参考書		
「中谷真弓のエプロンシアター」中谷真弓（チャイルド本社・フレーベル館・乳幼児教育研究所） 「親子でつくるおもしろバルーン」バルーンパフォーマーみなみ（実業之日本社）		
SDGsとの関連		
に 4. 質の高い教育をみんな		
特記事項等		
<ul style="list-style-type: none"> 授業の中でエプロンシアターに使うエプロンを紹介し購入してもらう。 科目のナンバリング SCO1106 		
学生へのメッセージ		
私が作新短大在学中1番好きだった科目が「表現」でした。 手遊び・エプロンシアター制作など、実践的なものを学びます。 皆さんが素敵な保育士になるれよう全力でサポートいたします！ 一緒にがんばりましょう！！		
研究室（訪問先等）		
中央研究棟2階 非常勤講師室		
電話番号		
028-667-7111（代）		
授業用E-mail		
info@balloon-minami.com		
成績評価法		
2/3以上出席しないと評価の対象としない。		